麻酔科専門研修プログラム

We Deliver The Best



飯塚病院

innovate and evolve

はじめに

麻酔科専門医、そして飯塚病院の麻酔科専門研修プログラムに興味をもっていただきまことにありがとうございます。

本プログラム冊子は飯塚病院が理想とする麻酔科専門医とその専門医を目指すにあたって、当院が準備している研修内容を少しでもわかりやすくお伝えしたいと思い作成いたしました。

プログラム冊子をご覧頂き、当院についてさらに知りたいと思ったら、まずは当院に見学に来ていただけますと幸いです。

皆様からのご連絡お待ちしています。

目次

はじめに 1

麻酔科専門医の使命 3

飯塚病院麻酔科専門研修プログラムの理念 3

プログラムの概要と特徴 3

研修施設群の概要と指導医 5

麻酔科専門研修の経験目標および研修方法 10

多職種による専攻医評価 10

専攻医の評価・修了判定について 11

専門研修管理委員会の運営計画 11

地域医療への対応 11

専門研修の休止・中断，研修プログラムの移動 14

定員と研修期間について 14

麻酔科専門医の使命

麻酔科専門医は国民が安心して手術を受けられるように手術中の麻酔管理のみならず、術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである。同時に関連分野である集中治療や緩和医療、ペインクリニック、救急医療の分野でも生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし、国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う。

飯塚病院麻酔科専門研修プログラムの理念

飯塚病院麻酔科専門研修プログラムを通じて、日本麻酔科学会の専門医育成ガイドラインに準拠して運営する。加えて、ACGME（Accreditation Council for Graduate Medical Education）が提唱する 6 competencies に準拠した評価も行い、地域診療のみならずグローバルな視野を持つ麻酔専門医の育成を行う。

プログラムの概要と特徴

飯塚病院麻酔科専門研修プログラムでは皆さんが麻酔科専門医取得後のキャリアをイメージし研修を実施できるように 4 つのコースを準備しています。

基本コース

・飯塚病院麻酔科を中心に手術中の全身管理に関わる幅広い知識を習得を目指す。

心臓血管麻酔専門医養成コース

・2年目以降心臓血管麻酔専門医認定施設である当院や連携施設で研修を実施していく。

集中治療専門医養成コース

・Closedな集中治療管理を実施している集中治療専門研修施設を中心とした研修を実施していく。

①基本コース

＜研修の内容・特徴＞

❑飯塚病院麻酔科を中心に手術中の全身管理に関わる幅広い知識を習得していただき、麻酔科専門医を目指します。

＜研修モデル＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	ER※	飯塚病院　麻酔科										
2年	飯塚病院　麻酔科※											
3年	飯塚病院　麻酔科						福岡市立こども病院					
4年	飯塚病院　麻酔科											

※原則、他院で初期研修中の方は 1 年次の 4 週間は救急科ローテーション

※麻酔科医は手術中の全身管理を行う必要があり、幅広い知識が必要となるため、希望者は院内診療科での研修が可能です。

②心臓血管麻酔専門医養成コース

＜研修の内容・特徴＞

❑心臓血管麻酔専門医が 4 名在籍しており、心臓血管麻酔専門医を取得する上での指導が可能。

❑2019 年度より心臓血管麻酔専門医認定施設に認定されるため、当院で経験した症例を心臓血管麻酔専門医認定申請の際に経験症例として届出が可能。（心臓血管麻酔経験症例として心臓血管麻酔専門医認定施設で 30 症例以上の経験が必要）

❑専攻医 2 年次には心臓血管麻酔専門医申請資格である『JB-POT』認定試験に合格できる力量が身につくように指導いたします。

＜研修モデル＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	ER※	飯塚病院　麻酔科										
2年	飯塚病院　麻酔科※ 専攻医2年次に『JB-POT』認定試験の受験を目指していただけます。											
3年	飯塚病院　麻酔科						福岡市立こども病院					
4年	聖マリア病院						飯塚病院　麻酔科					

③集中治療専門医養成コース

＜研修の内容・特徴＞

❑2 年目より集中治療専門研修施設にて通算 1 年以上研修いただくことで、麻酔科専門医取得後は集中治療専門医の取得も視野にいれた研修が可能。

❑希望者はクローズドな集中治療管理を行っており、集中治療専門研修施設に認定されている当院集中治療部やさいたま医療センターで研修が可能。

＜研修モデル＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	ER※	飯塚病院　麻酔科										
2年	飯塚病院　麻酔科						聖マリア病院					
3年	飯塚病院　麻酔科						自治医科大学附属さいたま医療センター					
4年	飯塚病院　麻酔科											

研修施設群の概要と指導医

■基幹施設

①飯塚病院

❑プログラム統括責任者：尾崎 実展

❑専門研修指導医：

尾崎　実展（麻酔，acute pain service）、田平　暢恵（麻酔）
内藤　智孝　（麻酔，神経ブロック）、濵井　優輔（麻酔）、
満田　真吾（麻酔）、鵜島　雅子（麻酔）

❑特徴：

当院は救命救急センター、福岡県総合周産期母子医療センターに認定されており麻酔科は超未熟児を除くほとんどすべての緊急手術に対応している。
また地域がん診療連携拠点病院であり、幅広い悪性腫瘍の手術を行っているが肝胆膵手術、肺手術の症例数が特に豊富である。心身合併症センターを運営しており、精神疾患で周術期管理困難と思われる近隣患者の受け入れも行っている。
開心術、TAVI、大動脈手術（開胸･開腹およびステント留置）、重症下肢虚血血行再建など心臓血管外科領域での幅広い手術を行っており、心臓血管麻酔専門医認定施設である。

❑麻酔科管理症例数　：　4,963 症例

■専門研修連携施設

①地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市立こども病院

[麻酔科認定病院番号：　第 205 号]

・研修実施責任者：水野　圭一郎

・専門研修指導医：

水野　圭一郎（麻酔）、泉　薫（麻酔）、住吉　理絵子（麻酔）

藤田　愛（麻酔）、伊藤　恵（麻酔）、小柳　幸（麻酔）、百瀬　未来（麻酔）

・特徴：

サブスペシャリティとしての小児麻酔を月 30～50 例のペースで集中的に経験できる。新生児を含む小児全般の気道・呼吸・循環管理の実践的な研修が可能。地域周産期母子医療センターであり、超緊急を含む帝王切開や双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼などの周産期手術の麻酔管理も経験できる。外科・整形外科・泌尿器科・産科の手術では硬膜外麻酔・神経ブロックを積極的に用いている。急性痛治療にも力を入れており、麻酔科主導で硬膜外鎮痛や PCA を管理している。先天性心疾患の手術件数・成績は国内トップレベルを誇り、研修の進達度に応じて複雑心奇形の根治手術・姑息手術の麻酔管理の担当も考慮する。

②九州大学病院　[麻酔科認定病院番号：　第 8 号]

・研修実施責任者：山浦　健（麻酔、集中治療、ペインクリニック）

・専門研修指導医：

山浦　健(麻酔)、東　みどり子(麻酔)、神田橋　忠(麻酔)、牧　盾(麻酔, 集中治療, 救急)、白水　和宏(麻酔, 集中治療)、崎村　正太郎(麻酔)、福徳　花菜(麻酔, 緩和ケア)、信國　桂子(麻酔)、水田　幸恵(麻酔)、浅田　雅子(麻酔,ペインクリニック)、石橋　忠幸(麻酔)、中野　良太（麻酔)、石川　真理子（麻酔)、高森　遼子（麻酔)、住江　誠（麻酔)、渡邊　真嗣（麻酔)、中島　孝輔（麻酔)、赤坂　泰希（麻酔)、眞島　妙子(麻酔)、中村　侑里(麻酔)、篠塚　翔(麻酔、ペインクリニック)、坂田　いつか(麻酔)

・専門医：

吉村　美穂（麻酔)、春田　怜子（麻酔)、上原　英梨子(麻酔)、福地　香穂(麻酔)、松山　優梨子(麻酔)、小佐々　翔子(麻酔)

・特徴：

九州大学病院は、全国でも最大規模の手術症例数を持っている。特に移植手術（心臓・肝臓・腎臓・膵臓等）や特殊な心臓手術（先天性心疾患、経カテーテル的大動脈弁置換術）、ロボット手術等の症例数も多く、高度で専門的な麻酔の研修を行うことができる。また、集中治療・救急医療・ペインクリニック・緩和ケアなど、関連分野での幅広い研修を行うことができる。

③国立病院機構 九州医療センター　［ 麻酔科認定病院番号: 第 697 号 ］

・研修実施責任者：辛島　裕士（麻酔，心臓血管麻酔）

・専門研修指導医：

辛島　裕士（麻酔，心臓血管麻酔）、甲斐　哲也（麻酔，ペインクリニッｎク）、中垣　俊明（麻酔）、虫本　新恵（麻酔）、姉川　美保（麻酔）、川久保　紹子（麻酔）、河野　裕美（麻酔）、渡邊　麻美（麻酔）、濱地　朋香（麻酔）

・特徴:

外科系の全診療科を有し、麻酔科専門医に求められる全ての領域の麻酔を経験することができる。グレード A（超緊急）帝王切開を含めて多くの緊急手術を受け入れており緊急への対応を身につけることもできる。また、心臓血管麻酔専門医認定施設であり心臓血管麻酔も多数経験することができる。術後鎮痛に配慮してエコーガイド下末梢神経ブロックを積極的に施行しており、対象症例も多いため、神経ブロックも多く経験することが可能である。

④雪の聖母会 聖マリア病院［ 麻酔科認定病院番号： 第 483 号 ］

・研修実施責任者：島内　司（麻酔）

・専門研修指導医：

島内　司（麻酔）、藤村　直幸（麻酔・救急・集中治療）、自見　宣郎（麻酔）、坂井　寿里亜（麻酔）、佐々木　翔一（麻酔）、井手　朋子（麻酔）、犬塚　愛美（麻酔）、高口　由希恵（麻酔）、前田　愛子（麻酔）

・特徴：

当院は、救命救急センター、総合周産期母子医療センターを併設している地域中核病院です。救急医療に主軸を置く当院では、24 時間 365 日患者さんを受け入れており、新生児から高齢者まで数多くの症例を経験できます。年間麻酔科管理症例数が約 5000 例あるため、麻酔科専門医取得に必要な症例は、当院で全て経験することが可能です。

当院の麻酔の特徴としては

①整形外科手術、呼吸器外科、外科、小児外科、形成外科に対しては、超音波ガ

イド下末梢神経ブロックを用いた麻酔管理や術後疼痛管理を積極的に行っています。
②小児の麻酔症例が多いのが特徴です。6 歳未満の小児の手術件数は年間 400 件を超えています。
③心臓血管外科手術は、胸部大血管手術や弁置換術に加え、EVARなど低侵襲心臓大血管手術を経験できます。
④形成外科が、口唇口蓋裂、頭蓋縫合早期癒合症など先天異常に対する治療を積極的な行っているため、気道確保困難が予想される Treacher Collins Syndrome や Pierre Robin Syndrome などの症例を経験できます。
⑤福岡県南の産科医療の拠点であり、ハイリスク妊婦の麻酔を数多く経験できます。帝王切開の手術件数は年間 250 件前後です。
⑥外科、脳神経外科、整形外科、形成外科の緊急手術が多いため、緊急手術症例対応に必要な知識と技術を取得できます。
⑦日本でも有数の股関節・大腿近位の骨折の治療実績を誇り、脊髄くも膜下麻酔や硬膜外麻酔の手技を多く経験できます。

⑤社会福祉法人恩賜財団済生会 福岡県済生会福岡総合病院

[麻酔科認定病院番号： 第 1043 号]

・研修実施責任者：吉村　速（麻酔）

・専門研修指導医：

吉村　速（麻酔）、倉富　忍（麻酔）、阿部　潔和（麻酔）、福元　智子（麻酔）、八田　万里子（麻酔）、川崎　莉佳（麻酔）

特徴：

済生会福岡総合病院は、病床数369床、手術室9室（うち1つはハイブリッド手術室）、年間手術症例数約4500件、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、福岡県災害拠点病院に指定されている、福岡市の中心天神地区に位置する中規模急性期総合病院である。

ハイブリッド手術室では、TAVI・TEVARをはじとする経カテーテル手術を全身麻酔科下で施行しているほか、ロボット支援手術システムを取り入れた高度先進医療も積極的に行い、難易度の高い術式や循環器系の重症合併症を有する患者の手術症例が数多く施行されている。

⑥佐賀県医療センター好生館

[麻酔科認定病院番号： 第 393 号]

241 心臓血管麻酔認定施設

・研修実施責任者： 三浦　大介

・専門研修指導医：

三浦大介（麻酔、心臓血管麻酔、小児麻酔、区域麻酔）、小杉寿文（緩和ケア、ペインクリニック）、三溝慎次（集中治療）、馬場麻理子（麻酔、心臓血管麻酔）、草場真一郎（麻酔、小児麻酔）、池田智子(麻酔)

・専門医：

永石雄基（麻酔）、田代卓（麻酔）、武藤さら良(麻酔)

・特徴：

佐賀県内の中核病院であり、手術件数も多く、幅広い症例の手術麻酔の経験を積むことができる。また、小児外科があるため、小児麻酔の経験も多く積むことができる。緩和ケア病棟を併設しており、麻酔科医による神経ブロックを積極的に用いた緩和医療を行なっており、緩和ケアの研修も充実している。

⑦京都大学医学部附属病院 ［ 麻酔科認定病院番号： 第 4 号 ］

・研修実施責任者： 江木　盛時

・専門研修指導医： 江木盛時(麻酔, 集中治療)、溝田敏幸(麻酔, 集中治療)、甲斐慎一（麻酔, 集中治療)、川本修司（麻酔, ペインクリニック)、瀬尾英哉（麻酔, 集中治療)、加藤果林（麻酔)、木村聡（麻酔, 集中治療、）辰巳健一郎（麻酔, 集中治療、心臓血管麻酔)、松川　志乃（麻酔, 集中治療、心臓血管麻酔)、橋本一哉（麻酔, 集中治療)、武田親宗（麻酔, 集中治療、心臓血管麻酔)、廣津聡子（麻酔, 集中治療、ペインクリニック)、池浦麻紀子(麻酔)、木村良平(麻酔, 集中治療)、山田瑠美子(麻酔, 心臓血管麻酔)、櫻井　洸太朗（麻酔)、三好　健太郎（麻酔）

・専門医 ：田口聡久（麻酔, 集中治療)、楠戸絵梨子（麻酔)、小堀鮎美（麻酔)、南迫一請（麻酔, 集中治療)、生野智美（麻酔)、髙橋周平（麻酔, 集中治療)、島田覚生（麻酔, 集中治療）

・特徴：

すべての外科系診療科がそろっており、豊富な症例を通じて幅広い麻酔管理を経験することが可能であり、日常的な手術から高度先進医療まで、バランスよく実践力を養える環境が整っています。肝移植、肺移植、人工心臓植込み手術、経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI)、覚醒下開頭術といった、他施設では経験が難しい高度かつ専門性の高い手術の麻酔管理を経験豊富な指導医のもとで体系的に学ぶことで、様々な合併症を持った患者さんの麻酔管理における確かな臨床力と判断力を身につけることができます。

集中治療部やペインクリニックでの研修機会もあり、周術期管理から集中治療まで一貫して経験し、術後痛から慢性痛まで体系的に経験することで、幅広い麻酔科領域の知識と技術を習得できます。
また、専攻医に必須化された論文執筆や臨床研究についても、経験豊富な指導医から丁寧な指導を受けることができます。

⑧産業医科大学病院　[麻酔科認定病院番号： 第 184 号]

・研修実施責任者：堀下　貴文
・専門研修指導医：
堀下　貴文（麻酔）、寺田　忠徳（麻酔，ペインクリニック，緩和医療）、山本　克己（麻酔，救急医療）、濵田　高太郎（麻酔）、橋本　航（麻酔）、原　幸治（麻酔，ペインクリニック）
・専門医
安波　恵介（麻酔）、瀧山　さゆり（麻酔）、毛利　祥子（麻酔）、長友　逸朗（麻酔）、淺田　匠（麻酔）
・特徴：
産業医科大学病院は，北九州唯一の特定機能病院として高度医療を提供し続けており，地域がん診療連携拠点病院としても地域において重要な役割を担っている．また，手術症例は多岐にわたっており，ほぼ全ての外科系手術の麻酔管理の研修が可能であり，特殊疾患患者や重症患者の手術も多いため，質の高い教育を提供することができる．2023年8月に手術室・集中治療室を含む新たな急性期診療棟が建設・開院され、ハイブリッド手術室を含む手術室においてさらに高度な手術に対応している。

⑨地域医療機能推進機構九州病院

[麻酔科認定病院番号： 第 257 号]
・研修実施責任者：吉野　淳
・専門研修指導医：
吉野　淳（麻酔）、芳野　博臣（麻酔）、松本　恵（麻酔）、今井　敬子（麻酔）、水山　有紀（麻酔，集中治療）、小林　淳（麻酔）、井村　一也((麻酔)、
・特徴：
北九州市西部を中心に遠賀・中間地域や直方・鞍手地域の地方急性期医療を担っている。超低出生体重児から高齢者まで、さらに成人先天性心疾患合併妊婦やハイリスク妊婦，循環器や呼吸器系に重篤な合併症を抱えた患者も受け入れている。
特に小児循環器科では 九州北部・山口から広域に患者を受け入れており、手術症

例も多い。このため、先天性心疾患手術は心室中隔欠損から単心室・複雑心奇形まで多彩である。成人心臓手術も多岐にわたり、弁膜症や冠動脈バイパス手術、急性大動脈解離や大動脈破裂など心臓血管専門医に必要な症例は全てカバーできる（2025年度320例）。 JB-POTを有するスタッフは現在6名、心臓血管麻酔専門医は4名、集中治療専門医1名在籍している。手厚い指導体制で後期研修医のスキルアップをサポートする。ハイブリッド手術室での、ASD/PDAカテーテル閉鎖術や動脈瘤のステント手術、大動脈弁置換手術のTAVIに加えて、2024年度より左心耳閉鎖デバイス（Watch Man）も導入された。

また、地域周産期母子医療センターを併設しており、胎児診断を元に産婦人科・新生児科・麻酔科がチーム医療と相互サポート体制で計画的に治療を行い、周産期の産科麻酔・新生児麻酔の研修体制をバックアップする。無痛分娩も年間7例（2025年度）であるが開始した。

麻酔科管理症例は4089例で、6歳未満の麻酔症例数は259例（2025年度）であり、小児麻酔認定医への症例数は十分である。安全・安心な周術期管理を第一としつつも、末梢神経ブロック積極的に併用し、こどもたちにも多角的鎮痛により良好な鎮痛を目指している。

学会発表も積極的に行っており、これまでにはアメリカ麻酔学会や欧州麻酔学会、世界気道管理学会での発表実績がある。

⑩神戸市立医療センター中央市民病院[麻酔科認定病院番号： 第217号]

・研修実施責任者：美馬　裕之

・専門研修指導医：美馬　裕之（麻酔、集中治療）、山崎　和夫（麻酔、集中治療）、宮脇　郁子（麻酔）、下薗　崇宏（麻酔、集中治療）、柚木　一馬（麻酔、集中治療）、野住　雄策（麻酔、集中治療）、桂　欣宏（麻酔、集中治療）

・特徴：神戸市民病院機構の基幹病院として高度・先進医療に取り組むとともに救急救命センターとして24時間体制で1から3次まで広範にわたる救急患者に対応している。そのため心大血管手術、臓器移植手術、緊急手術など様々な状況で多種多彩な麻酔管理を経験できる。また、集中治療部を麻酔科が主体となって管理しているため大手術後や敗血症性ショック等の重症患者管理を研修することができる。

⑪久留米大学病院[麻酔科認定病院番号： 第41号]

・研修プログラム統括責任者：平木　照之

・専門研修指導医：平木　照之（麻酔、ペインクリニック、緩和医療）、原　将人（麻酔、心臓血管麻酔）、中川　景子（麻酔）、平田　麻衣子（麻酔）、亀山　直光（麻

酔)、横溝　美智子(麻酔)、太田　聡(麻酔)、服部　美咲(麻酔)、藤田　太輔(麻酔、心臓血管麻酔)、木本　義敬(麻酔)、西原　千晶(麻酔)、川上　真代(麻酔)

・特徴:福岡県南部の中核病院。新生児、開心術、高難度手術など幅広く手術麻酔を行っています。手術症例数が豊富であり専門医として必要な手技を数多く経験することができます。

⑫自治医科大学付属さいたま医療センター

[麻酔科認定病院番号： 第 961 号]

・研修プログラム統括責任者：飯塚　悠祐

・専門研修指導医：

大塚祐史　（心臓麻酔、救急医療)、飯塚悠祐（麻酔，集中治療)、佐藤和香子（麻酔、ペインクリニック)、松野由以（麻酔、ペインクリニック)、瀧澤裕（緩和ケア、ペインクリニック)、宮澤恵果(小児・心臓麻酔)、深野賢太朗　（一般麻酔、集中治療、救急医療)、諏訪晧士（一般麻酔、心臓麻酔)、斉藤玲那　（一般麻酔)

・専門医：

大木紗弥香（心臓麻酔)、澤田　郁美(一般麻酔、救急医療、国際応援)、西山聖也(一般麻酔、集中治療)、永井　佳裕(一般麻酔、集中治療)

特徴：

手術室では、臓器移植を除く全科の症例を扱っています。特に心臓大血管手術、呼吸器外科手術を数多く経験出来ます。また、重篤な併存症を有する患者の麻酔管理を行う機会も豊富です。

麻酔科・集中治療部として運営しているため、30 床を有する Closed ICU にて、幅広い疾患の患者管理を経験することも可能です。ICU では特に機械的補助循環（ECMO、IMPELLA、IABP、CRRT など）の管理、重症呼吸不全の呼吸管理を、数多く経験出来ます。

⑬山口大学医学部附属病院

[麻酔科認定病院番号： 第 63 号]

研修プログラム統括責任者：松﨑　孝

専門研修指導医：松﨑　孝（麻酔，区域麻酔、集中治療、ペインクリニック)、脊戸山景子（麻酔、）飯田靖彦（麻酔，小児麻酔)、松本　聡（集中治療）山下敦生（麻酔，心臓麻酔)、原田　郁（麻酔)、折田華代（麻酔，産科麻酔)、山下　理（麻酔，心臓麻酔)、名郷有紀（麻酔)、奥　朋子（麻酔、小児麻酔)、松尾綾芳（麻酔，区域麻酔、ペインクリニック)、佐

藤尚子（麻酔）、内山史子（麻酔）、大野宏幸（麻酔）、川並俊介（麻酔、心臓麻酔）、井町優子（麻酔）
専門医：村上駿一（集中治療）、吉村沙記（麻酔）、辻　明李（麻酔）、津田小緒里（麻酔）、丸花翔一朗（集中治療）、村上　瞳（麻酔）
特徴：ペインクリニック，集中治療，緩和ケアのローテーション可能
大学病院ならではの最新治療の経験やシミュレーター設備が充実

麻酔科専門研修の経験目標および研修方法

国民に安全な周術期医療を提供できる能力を十分に備えるために研修期間中に別途資料「麻酔科専攻医研修マニュアル」に定められた経験目標の達成を目指していただきます。詳細は別紙の『麻酔科専攻医研修マニュアル』をご覧下さい。

多職種による専攻医評価

年度ごとに多種職（手術部看護師長、集中治療部看護師長、臨床工学技師長、担当薬剤師）による専攻医の評価について、文書で研修管理委員会に報告し、次年次以降の専攻医への指導の参考とします。

専攻医の評価・修了判定について

年に 2 回、『専攻医研修実績記録フォーマット』を用いて『プログラム管理委員会』にて研修状況を評価し、専門医認定の申請年度（専門研修終了時あるいは以後）に修了判定を行います。詳細は別紙の『麻酔科専攻医研修マニュアル』をご覧下さい。

専門研修管理委員会の運営計画

研修プログラムは、プログラム統括責任者のもとで、各施設の研修責任者で構成される専門研修管理委員会によって、定期的に評価、改善される。委員会は年に 2 回の開催を基本とする。

地域医療への対応

本研修プログラムでは当院を含め地域医療の中核病院と連携している。医療資源の少ない地域においても安全な手術の施行に際し、適切な知識と技量に裏付けられた麻酔診療の実施は必要不可欠であるため、専攻医は基幹病院だけで

はなく地域での中小規模の施設においても麻酔指導医の監督のもと麻酔研修を行い、当該地域における麻酔診療のニーズを理解する。

　各連携施設では十分な指導医の数と指導体制が整っているが、指導体制が十分でないと感じられた場合は専攻医は、研修プログラム統括責任者に対して直接、文書、電子媒体などの手段によって報告することが可能であり、それに応じて研修プログラム統括責任者および管理委員会は研修施設およびコースの変更、研修連携病院からの専門研修指導医の補充、専門研修指導医研修等を検討する。

専門研修の休止・中断，研修プログラムの移動

専門研修の中止、中断、移動については『麻酔科専攻医研修マニュアル』をご覧下さい。

定員と研修期間について

定員：2 名/年

研修期間：4 年間